

令和 8 年度 第 4 回春日区地域協議会 次第

日時：令和 8 年 7 月 8 日(水)

午後 6 時 30 分～

会場：上越市市民プラザ 第四会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自主的な審議

- ・子どもたちが愛着を持てる春日 ～春日愛の継承～ / 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

4 その他

(1) 次回開催日程について

- ・日 時：令和 年 月 日 () 午後 時 分～
- ・会 場：_____
- ・内 容：_____

(2) その他

5 閉会

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

- その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）
- その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）
- その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）
- その 4 話し合いやすい雰囲気大切にしましょう（相手を責めない）
- その 5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

テーマ① 子どもたちが愛着を持てる春日 ～春日愛の継承～

市内の地域自治区で人口を比較した際、春日区では、現在は子どもの人数は多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるよう、取り組む。

令和8年度第4回春日区地域協議会
令和8年7月8日
3議題（1）自主的な審議
資料No.1

委員敬称略

A	具体的な解決策：春日地域に関する学びや謙信公の顕彰を、 地域の大人から子どもへ伝承する	委 員：池亀、太田、小林、崎田、 田邊、原 事務局：小川主事
---	--	--------------------------------------

○大切にしたいポイント（条件、方針、理念など）

- ・“**変わらない何か**”がある「**地元**」と呼べる場所であること
- ・忘れられない思い出があること
- ・大人が**かっこいい見本**になること
- ・達成感があること
- ・子どもの頃から**取り組み、身につく**こと
- ・**地元を語れる人**になること

○ポイントを押さえたうえで、課題解決のために実施すべき取組

すごろく+オンライン謙信公検定

○この取組の“**推し**”ポイント

- ・
- ・
- ・

○実施のための協議事項

○実施のための協議事項							
実施者（地域の誰が）				実施方法	取組を継続させるための工夫		
対象者（誰に…ターゲット）		・ 地域（エリア）： ・ 年齢層： ・ その他： ・ 事前講座の実施 ・ 放課後児童クラブに設置			講座		
実施方法	★子どもが地域を学び、愛着を持つための工夫						
	検定・講座内容 （どのようなことを継承・伝承すべきか）	・ 春日村歌 ・ 上杉謙信			検定		
					スケジュール		
	地域の大人が子どもへ伝承するための工夫（仕掛け）				経費		
受検・受講（参加）しやすさのための工夫 ※地域の子どもの参加				その他		・ 二次元コードでタブレット端末で利用可能とする	

テーマ② 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

現在、人口の多い春日区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人とがいつまでもつながってられるよう、取り組む。

令和8年度第4回春日区地域協議会
令和8年7月8日
3議題（1）自主的な審議
資料No.2

委員敬称略

B	具体的な解決策：簡単なゲームを通じた世代間交流	委 員：折橋、瀧本、田中、松澤、 吉田(実)、山田 事務局：渡邊係長
---	-------------------------	--

○大切にしたいポイント（条件、方針、理念など）

- ・年齢や健康状態等に関わらず、誰もができること
- ・お金がかからず、誰もが集まりやすい環境であること
- ・ルールが単純で、誰もが理解できること
- ・何年も継続できる取組であること
- ・世代間交流ができる“場”の提供となること
- ・誰もが知っている既存のゲームを用いること

○ポイントを押さえたうえで、課題解決のために実施すべき取組

※3点セットで公民館開放事業 輪投げ、マージャン、オリエンテーリング

➡すごろく（アプリ、紙）

○この取組の“推し”ポイント

- ・A「地域の大人から子どもへ伝承する」、C「共通の趣味などを持った人がつながるための交流」とも共通するため、3つの解決策を網羅できる取組。
- ・地域協議会委員で成果物を作成することができる。

○実施のための協議事項

○実施のための協議事項							
実施者（誰が）				実施方法			
実施場所		春日地区公民館（春日謙信交流館）					
対象者（誰に…ターゲット）		・ 地域（エリア）：					
		・ 年齢層：					
		・ その他：					
実施方法	誰もができるための工夫		・ 移動を伴わなくても利用できる				
	集まり（参加）やすさ のための工夫		・ 公民館開放事業とのタイアップ				
	誰もが理解できる ルール		・ 公民館開放時に来館している中高校生にモニターを依頼し、若者の反応を検証しながら作成する		スケジュール	R8. 夏 デモ制作（地域協議会） R8. 秋 モニター検証、詳細企画 R8. 冬 予算要求 R9. 制作～本格実施	
				経費			
継続しやすさ のための工夫				その他	・ 春日地区を知ることができる取組としても有効なものにする		

テーマ② 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

現在、人口の多い春日区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人とがいつまでもつながってられるよう、取り組む。

令和8年度第4回春日区地域協議会
令和8年7月8日
3議題（1）自主的な審議
資料No.3

委員敬称略

C	共通の趣味などを持った人がつながるための交流	委員：飯田、市川、上野、本多、 山谷、吉田（義）、渡部 事務局：村山副所長
---	------------------------	---

○大切にしたいポイント（条件、方針、理念など）

- ・小規模な事業から少しずつ規模を広げていくこと
- ・多世代のほか、男性も女性も参加しやすいこと
- ・誰でも参加できるよう説明会や練習会を行うなど工夫すること
- ・参加者に偏りが生じないようにすること
- ・楽しむことを目的とすること
- ・互いの顔が見え、気軽に参加できること
- ・長く継続できるよう、参加費が高額にならないようにすること

○ポイントを押さえたうえで、課題解決のために実施すべき取組

春日地域文化祭

○この取組の“推し”ポイント

- ・
- ・
- ・

○実施のための協議事項					
実施者（誰が）		〇〇〇実行委員会（地域協議会委員も支援）		実施方法	
実施場所		春日謙信交流館			
対象者（誰に…ターゲット）		・ 地域（エリア）：			
		・ 年代層：			
		・ その他：			
実施方法	誰もが参加しやすい ための工夫				
	参加者に偏りが生じない ための工夫			スケジュール	
	継続していくための工夫				
	人と人がつながる ための工夫			経費	
				その他	